

平成 27 年 7 月

各 位

中部大学生産技術開発センター長
鈴木 浩文

平成 27 年度中部大学生産技術開発センター講演会開催のご案内

中部大学生産技術開発センターは昭和 63 年 4 月に発足して以来、産業界と協力して生産技術に関する研究を進めて参りました。その間、皆様方のご協力により多くの研究成果を出すことができました。

さて、下記のとおり、平成 27 年度第 1 回中部大学生産技術開発センター講演会を開催いたします。多数の皆様方のご出席を賜りますようご案内申し上げます。

記

1. 開催日時：平成 27 年 8 月 5 日（水）13：00～17：00
2. 会 場：中部大学 7号館 3階 工学部ファカルティルーム（愛知県春日井市松本町 1200）
3. 会 費：無料
4. プログラム：

挨拶

中部大学 生産技術開発センター長 鈴木 浩文

13：00～13：50 特別講演「マイクロ切削加工技術の開発」

東京電機大学 工学部 機械工学科 教授 松村 隆 氏

医療、IT 分野において、微細加工に対するニーズと期待が高まっている。最近では、工具製造技術、工作機械の運動制御技術の進歩とともに、微細加工の応用も増えてきた。しかし、微細加工は加工対象が小さいため、例えば大きな表面に微細構造を加工する場合には能率が低いという課題もある。本講演では、ガラスやファイアの硬脆材料の微細加工、マイクロディンプル等の微細構造の高能率加工、微小径線材に対する切削加工を紹介し、その応用例について説明する。

13：50～14：40 特別講演「骨に近いヤング率を有する超弾塑性型チタニウム合金のミーリング加工」

金沢工業大学 工学部 機械工学科 教授 加藤 秀治 氏

外科的手術において生体適合性に優れるチタニウム合金が人工骨や人工歯根に適用されている。しかし、人骨とチタニウム合金間の縦弾性係数の相違によって骨吸収が生じる。このため、低い縦弾性係数を有し従来材料と同等の引張強度を兼ね備えた超弾塑性型チタニウム合金の適用が期待されている。本研究では、小径工具を用いた超弾塑性型チタニウム合金のミーリング加工を行い、切削特性と加工表面の変質層の観点から材料品位について検証した結果について紹介する。

<休 憩>

15：00～15：50 特別講演「0.1nm 位置制御超精密加工機と CAD モデル加工への対応」

東芝機械株式会社 福田 将彦 氏

超精密加工機の最新技術紹介として、0.1nm制御可能な加工機を紹介する。また同時に自動車部品加工分野を対象とした、加工パス生成から測定評価を含むCAD定義モデルの超精密加工事例もあわせて紹介する。

15：50～17：00 新技術紹介

・「熱膨張率を制御した特殊アルミ合金」

オプティワークス株式会社 土肥 寿秀 氏

RSP 社では、NiP と熱膨張係数を合わせられる特殊なアルミ合金など特殊製法を開発、製造している。最近、衛星用の大型ミラー（～600mm）や EUV の縮小投影光学系にも使われ始めているので紹介する。

・「超精密加工現場の最新の環境制御技術」

日本スピンドル製造株式会社 空調技術グループリーダー 泉 憲司 氏

最新の超精密加工機用の恒温ブースの最新技術の紹介をする。

・「射出成形品のガス抜き対策における有効性について」 ケンモールドサービス 技術顧問 齊藤 輝彦 氏
 レンズ、コネクター、エンジニアリングプラスチック等の精密成形において、成形時に発生するガスによる金型の劣化、精度の低下が精密成形での量産時に大きな問題となる。また、ガスに起因する金型のメンテナンスも頻繁になり効率的な量産につながる。そこで、低圧成形・メンテナンスの軽減を可能にするガス抜き装置の効果および実績を紹介する。

17:00 閉会あいさつ

17:15~18:45 技術交流会

5. 会場案内: JR 中央線神領駅 (快速は停車しない) 北口より中部大学行きのスクールバス (料金 200 円) で約 7 分。
 JR 中央線高蔵寺駅 (快速も停車する) より中部大学行き名鉄バスまたはタクシーで約 10 分。
 東名高速道路春日井インターチェンジより国道 155 線を東 (瀬戸方面) へ約 1km, 左手の丘の上。

6. 定 員: 80 名

7. 申込方法: 氏名・勤務先・住所・メールアドレス・電話番号・FAX 番号・技術交流会参加の有無を明記し、
 7 月 27 日 (月) までに E-mail または Fax で事務局までお申込みください。

8. 事務局: 中部大学生産技術開発センター (〒487-8501 愛知県春日井市松本町 1200 工学部事務室)
 Tel: 0568-51-4319, Fax: 0568-51-3833, E-mail: kogakubu@office.chubu.ac.jp

以上

下記の項目にご記入の上、E-mail もしくは Fax にてお申し込みください。

中部大学生産技術開発センター 事務局 宛

Fax: (0568) 51-3833, E-Mail: kogakubu@office.chubu.ac.jp

中部大学生産技術開発センター講演会申込書 (7 月 27 日締め切り)			
氏名		勤務先	
所在地	〒	E-mail	
		電話	
		FAX	
技術交流会 有償: 3000 円 程度の予定	参加 不参加 (○で囲んでください)	備考	